

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007  
FAX03-3261-5453

2017年2月15日（水）

第722号 本号3号

## 「稲田防衛相辞任せよ」と緊急集会

2月14日、衆院第二議員会館前で「憲法9条無視の答弁をした稲田防衛相は辞任せよ、南スーダンの自衛隊を即時撤退させよ」との緊急行動が開催されました。緊急の呼びかけにもかかわらず、400人の市民が参加しました。主催は「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」。

参加者は「2月8日の稲田防衛相のとんでもない憲法無視、立憲主義放棄の答弁は許せない」と、「稲田防衛相は辞任せよ」等とシュプレヒコールを繰り返しました。



### 野党各党も稲田朋美防衛相に対する追及を強める！

また、野党各党も稲田朋美防衛相に対する追及を強めています。一つは、南スーダン国連平和維持活動（PKO）に派遣された陸上自衛隊の日報をめぐる問題。防衛省が当初、「廃棄した」と説明していた日報の存在が後になって発覚、内容の一部が公表されたことです。なかったはずの文書が出てきた形で、野党は「公文書管理の在り方が大問題だ。進退はご自身で決める問題だ」と述べ、稲田氏への追及を強めています。

もう一つは、日報に現地で「戦闘」があったと表記されているのに、稲田氏は「法的な意味での戦闘行為ではない」と強調している点です。野党側は現地情勢がPKO参加5原則から逸脱しているとして、明確な説明を求めています。

野党は徹底追及し、市民も声をあげ、稲田防衛相を辞任に追い込みましょう。さて、現在の南スーダンの情勢はどうなっているのでしょうか。政府軍と反政府勢力などの民族間の衝突が続いて、深刻な事態となっているようです。一日も早く自衛隊を撤退させましょう。

## 南スーダン1ヵ月で5万人が隣国に避難 国連が懸念深める！

自衛隊の部隊が国連のPKOに参加している南スーダンについて、国連は7日、民族間の衝突が続き、先月1ヵ月間だけで5万人の市民が隣国のウガンダに避難したことを明らかにし、このままでは民族間の大虐殺につながるおそれがあるとして懸念を深めています。

国連のアダマ・ディエン事務総長特別顧問は7日、声明を発表し、南スーダン南部の都市ランヤヤカジョ・ケジなどでは、政府軍と反政府勢力などの民族間の衝突が続いていて、先月1ヵ月間だけで5万2000人の市民が隣国のウガンダに避難したことを明らかにしました。



また、避難した人々から、現地では市民が殺害されたり家が破壊されたりしているほか、性的な暴力や略奪も横行しているという証言が数多く得られたとして、このままでは民族間の大虐殺につながるおそれがあるとして、深刻な懸念を表明しています。

このうち、カジョ・ケジでは、市民を保護するため国連のPKOにあたる部隊の移動が、南スーダンの政府軍によって制限されているほか、ウガンダに逃れようとする人々を国境付近で、南スーダン政府が妨害していると指摘しています。これらの都市は治安が比較的安定しているとされ、自衛隊の部隊が活動している首都ジュバから南西や南に百キロ以上離れています。国連では一刻も早い戦闘の停止に向けた、南スーダン政府への働きかけを続けることにしています。

南スーダンから国境を越えてウガンダに逃れた難民たちは、政府軍の兵士が市民を虐殺していると証言しています。一方、南スーダンのキール大統領は先月末、取材に「女性や子どもを虐殺しているのは反政府勢力だ」と述べ、政府軍による虐殺を一切、否定しました。

このままでは民族間の大虐殺につながるおそれがあると、国連が深刻な懸念を表明していることについても、「うわさにすぎない」として、国連の報告が正しくないと主張しました。

## **「へつらい」「おべっか」(米国紙) 外交**

### **軍事でも経済でも、米国との同盟強化を確認！**

今回の安倍首相の米国訪問について、大統領令に対して国連総長、ドイツのメルケル首相等から懸念の声があげていることと比較し、米メディアはその異常性について報道しています。

- ◆ワシントン・ポスト紙 「大統領就任前にトランプ氏と会見した唯一の首脳」と紹介し、首脳会談で「安倍首相は億万長者のビジネスマンにおべっかを使いながら、米国が「ますます強くなること」を歓迎すると語った」と報道。
- ◆ニューヨーク・タイムズ紙 「摩擦を後ろに置き、トランプ氏は安倍氏を抱擁し、緊密な関係を築けた」と、その親密ぶりに注目。
- ◆米タイム紙 「安倍首相はトランプ大統領の心をつかむ方法を示した。へつらいである」と10日の見出し。

まさに、「へつらい」「おべっか」外交と、米国紙はその異常性を報道しています。今回の会談では、「米国第一」を掲げるトランプ大統領を、安倍首相は「偉大な米国、強い米国」と持ち上げ、「日米同盟第一」の立場からいっそう対米追従を深める会談となりました。ゴルフ場でトランプ氏にポチのように笑顔で従う安倍首相の映像を見れば、だれが見ても、安倍首相が対米隷属を優先し、トランプ政権に盲目的に追従する姿勢であると分かります。

今回の訪米にあたり、日本の年金基金まで使ってアメリカでの70万人の雇用創出を手土産にしたことなどは、まさに「朝貢外交」であり、異常な売国行為です。

### **共同声明には「核戦力を含む軍事力で日本を守る」とまで合意！**

会談後の共同声明で、名護市辺野古への米軍新基地建設が、「普天間基地の継続的な使用を回避するための唯一の解決策」と明記しています。新基地反対の「オール沖縄」の民意を踏みにじって、基地建設を強行する姿勢を示しました。

また、会談では安保条約第5条が尖閣列島に適用されることを確認し、安倍首相は共同記者会見で、「日米同盟の絆はゆるぎないものであり、日本も積極的平和主義の旗の下で大きな役割を果たす」と明言しました。トランプ氏は「日本の安全保障に関与する。日米同盟はアジア太平洋地域の平和と安定の礎石だ」と述べました。

さらに、核兵器禁止条約の締結交渉が始まろうとしているのに、「核および通常戦力の双方によるあらゆる種類の米国の軍事力を使った日本の防衛に対する米国のコミットメント（関与）は揺るぎない」と明記しました。米国が、核戦力を含む軍事力で日本を守る「核抑止」を、引き続き提供する方針まで示しています。世界の流れに逆行する動きです。

経済部分野では、TPPからの離脱に「留意」し、「日米間で2国間の枠組みに関して議論を行う」としました。TPP強行の際には、「米国を離脱から説得」などと言っていたのに、いい加減な安倍首相です。今後、麻生太郎副総理とペンス副大統領による協議で具体化されるとしていますが、貿易や為替など広範な個別課題に広がる危険が濃厚です。

今回の「へつらい」「おべっか」外交、「朝貢外交」で安倍首相が示した「隷属」ぶりが、日本の安全保障や経済にどんな結果をもたらすことになるのか懸念の声が上がっています。トランプ政権の言いなりになるのではなく、日本と国民のために言うべきことを主張する、対等・平等の姿勢を貫くことが求められるのではないのでしょうか。

## 各地のとくくみ

### 埼玉 「建国記念の日」不承認、軍国主義思想の復活に反対し、 思想と信教の自由を守る2・11埼玉県民集会を開催！ 140人参加

全国各地で「建国記念の日」反対集会が開催されました。埼玉では、「建国記念の日」不承認、軍国主義思想の復活に反対し、思想と信教の自由を守る2・11埼玉県民集会が、さいたま市で開催され、140人が参加しました。

集会では「日本会議と安倍政権がめざすもの」と題して、子どもと教科書ネット21」常任運営員の鈴木敏夫さんが講演。憲法改悪や歴史歪曲など、「日本会議」の目的や運動を詳しく語り、それに対抗する草の根運動の強化を呼びかけました。集会の最後には、安倍政権による憲法改悪や「共謀罪」創設などの狙いを告発し、「立憲主義や民主主義をないがしろにする安倍政権に断固抗議の声をあげよう」としたアピールを拍手で採択。

その後、「戦争する国、絶対反対」「安倍政権から憲法を守れ」と唱和しながら、県庁前からJR浦和駅までデモ行進しました。

### 東京 3日は「沖縄・全国統一署名行動」、7日には憲法共同センター宣伝行動

2月3日午後1時から「アベ政治を許さない！」スタンディング行動と結んで「沖縄・全国統一署名行動」を行いました。参加は土建の仲間8人を含めて26人。この署名行動を開始してからもっとも大勢の参加になりました。

風が強く、用意した「オスプレイ墜落現場」の写真や新聞記事のパネルが吹き飛ばされるほどでしたが、ハンドマイクを使わず肉声で訴えるかたちでの「スタンディング」を貫きました。米軍基地の危険や不安にさらされている沖縄県民の状況を話すと、うなずきながら署名簿に向かってくる方が目立ちましたが、集約した署名の数は、今回も65人分。行動に持ち寄ってくれた仲間の30人分を加えて95人になりました。沖縄問題がまだまだ世論のブームを呼ぶには至らない実態を思い知らされました。

2月7日、憲法東京共同センターは、強風の中、巣鴨駅から上野駅、本郷3丁目交差点を回り宣伝。巣鴨駅と本郷3丁目の交差点では、3人の弁士が約30分の訴えを行いました。大きく手を振っての激励がありました。東京平和委員会の平田さん、民医連の中嶋さん、東京原水協の石村さんらが、オスプレイ配備撤回、核兵器廃絶国際署名、憲法で保障されている個人の



### 「格差・貧困にノー！みんなが尊重される社会を！」2・19集会

日時：2月19日（日）午後0時半開場 1時開会

場所：日比谷野外音楽堂

スピーチ：本田由紀さん（東京大学教授） ・野党代表

集会後に、銀座に向けパレード！

※主催「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」

